

ローム ミュージック ファンデーション 2025年度奨学生の募集について

応募資格

- ・日本国籍を有し、国内外の教育機関で音楽を学ぶ者
又は、外国籍を有し、日本の教育機関で音楽を学ぶ者
(入学を予定している者も応募可)
- ・なお、教育機関とは以下4つの条件を“**全て**”満たしている学校(組織)とする
 - Ⅰ：学校(組織)が正式に発効する公的な在学証明書が存在すること(指導教員の自筆文書等は不可)
 - Ⅱ：学校(組織)が正式に発行する公的な成績証明書が存在すること(指導教員の自筆文書等は不可)
 - Ⅲ：学校(組織)から給与が支払われていないこと(奨学金を除く)
 - Ⅳ：卒業、修了要件が明確に定義されたカリキュラムが学校(組織)から提示されていること
- ・年齢不問
- ・更新は1回まで可(最大2年間)ただし新たに申請が必要
- ・以下の実技審査および面接日のいずれにも出席可能な者
(京都市内にて2025年3月5日(水)、3月6日(木)開催)

給付金額

月額30万円
返済の義務はありません。

給付期間

原則として1年間、2025年9月～2026年8月

※但し、2024年9月から1年以内に卒業し、その後教育機関に在学されない方は、2025年4月まで遡って給付を開始することができます。(最長12ヶ月、且つ在学期間)

申請方法

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションのWebサイトより申請

※専攻分野によって、一部郵送提出を認めているものもございます。
※申請はPCより行ってください

応募受付締切

2024年9月5日(木) 17時00分

※郵送提出物の必要がある方は、締切後の到着物は無効となります。

海外からの申請も同様です、余裕をもって発送してください。

また書類の到着確認は受けておりません。ご自身で追跡記録が残る発送方法を検討ください。

※締切後のデータでの追加提出物も一切認めません。

※2024年9月5日(木) 17:00以降のお問い合わせは受け付けておりませんのでお気を付けてください。

ただし応募受付締切後に申請内容に変更が生じた場合は(入学予定学校の変更、入学・卒業年月の変更等)、奨学生申請者サポートデスクへご連絡ください。

選考方法

- ・ 第一段審査 提出書類、映像、音源に基づく審査
- ・ 第二段審査 第一段審査通過者に対する実技審査および面接
実施日 : 2025年3月5日(水)又は3月6日(木)
実施場所 : 京都市内(詳細は第一段審査通過者へお知らせいたします。)
※伴奏者、譜めくりスタッフが必要な場合は、申請者本人が手配してください。
※旅費他の諸経費は申請者の負担となります。

スケジュール

第一段審査結果通知 2024年12月末に結果連絡予定
第二段審査実施 2025年3月5日(水)又は3月6日(木)
最終採否結果 2025年3月末に結果連絡予定
認定式 2025年8月頃、京都市内にて開催予定。採択された方は全員必ず出席していただきます。
報告会 2026年8月頃、京都市内にて開催予定。採択された方は全員必ず出席していただきます。
※第二段審査に関する詳細は、2024年12月末に第一段審査通過者へお知らせいたします。
※選考の経過、選考理由は採択・不採択にかかわらず、個別にお答えしておりませんので、予めご了承ください。
※採択された場合、氏名・学校・専攻をローム ミュージック ファンデーションの発行物およびWebサイトに掲載します。

◇お問い合わせ

以下の奨学生申請者サポートデスクへご質問内容を送信してください。担当者がご連絡させていただきます。

奨学生申請者サポートデスク : jimukyoku@rmf-scholarship.jp

(お電話での問い合わせは受け付けておりません。問い合わせの際はお名前を必ず明記してください。)

提出書類について

申請書類の状況も審査の対象となります。以下を確認の上、記入漏れや不備のないようご注意ください。
締切期日までに必ず全ての書類を提出してください。締切以後の追加提出は一切認めません。
虚偽・不正内容にて申請したと事務局が認めた申請者については、今回を含め今後一切の申請をお断り致します。

提出書類 [申請書および添付書類]			Webサイトでの申請方法		
1	申請書(基本情報、学歴及び申請学校、音楽活動・習得歴、経済状況)	必須	マイページ上で必要事項入力		
2	奨学生の更新にあたって (対象:現在および過去の奨学生)	対象者のみ	テンプレートをダウンロードの上、記入し、スキャンデータをアップロード		
3	成績証明書 日本語以外の場合和訳添付	必須	スキャンデータをアップロード		
4	推薦状 (2名分) 日本語以外の場合和訳添付	必須	テンプレートをダウンロードの上、推薦者の押印またはサインを受け、スキャンデータをアップロード		
5	在学証明書 日本語以外の場合和訳添付 (対象:給付期間中の在学学校と現在の在学学校が同一)	対象者のみ	スキャンデータをアップロード		
6	音源データ 映像データ 楽譜	鍵盤楽器・弦楽器・ 管打楽器・声楽	15分以内の映像データ	対象者のみ	データをYouTubeにてアップロードしそのURLを入力
			15分以内の音源データ		データをアップロード
		作曲	提出音源の楽譜データ		データをアップロード
		指揮	15分以内の映像データ		データをYouTubeにてアップロードしそのURLをマイページにて入力
		コレパティータ	15分以内の映像データ		データをYouTubeにてアップロードしそのURLをマイページにて入力
7	音源・映像資料内容一覧 (対象:6. 音源データ・映像データを提出する方)	対象者のみ	テンプレートをダウンロードの上、記入し、スキャンデータをアップロード		
8	研究の概要 (対象:音楽学を専攻の方)	対象者のみ	テンプレートをダウンロードの上、記入し、スキャンデータをアップロード		
9	その他 (選考審査上参考になるとと思われる資料) 最大3点まで(A4サイズ)	任意	データをアップロード		

※ 応募受付締切後に申請内容に変更が生じた場合(入学予定学校の変更、入学・卒業年月の変更など)、奨学生申請者専用メールアドレスへご連絡ください。

1. 申請書について

①申請システムにて必須項目を入力してください。その際、記入例を参考にしてください。

- 入力いただいた連絡先(電話番号・メールアドレス)にお問い合わせをさせて頂く場合がございます。
もし**連絡が付かない場合、申請辞退・審査辞退とみなす可能性がございます**のでご注意ください。
奨学生申請者サポートデスク(jimukyoku@rmf-scholarship.jp)からの受信設定をご確認ください。

②「学歴および申請学校」について

- 申請の時点で、**正規年数や卒業年月が未定の場合は目標としている年月、少なくとも在学しようとしている年月を記入してください。**
- 申請の時点で、指導教官が未定の場合は、**希望する指導教官名を入力してください。**未定として提出された場合は不備として処理します。
- 学歴欄には**給付期間中の在学予定学校の入学・卒業予定も記入してください。**

③「経済状況」について

- 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの奨学金の有無に関わらず、勉学されることを前提として**いますので、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの奨学金を含めずに入金の計画を立ててください。

2. 「奨学生の更新にあたって」について (対象:現在および過去の奨学生)

給付期間終了時に提出していただく「生活状況報告書」と重複する点がありますが、直近1年間の状況を中心に記載してください。

3. 成績証明書について

①現課程(不可能な場合は前課程)のものを提出してください。

大学院在学の方で、専門課程の成績しかない場合は、大学卒業時の成績証明書も合わせて添付してください。

②日本語以外での記載の場合は翻訳(本人翻訳可)を必ず添付してください。

4. 推薦状について

①所定の書式を使用してください。推薦者の押印またはサインが必要です。

②推薦者は(i)を2名又は(i),(ii)を各1名とします。

(i)指導者の推薦(特に、更新の申請をされる方は、現在の学業の状況・成績等についての指導者の意見が盛り込まれるよう依頼してください。)

(ii)その他推薦者として適当と認められる者の推薦

但し、配偶者と、本人および配偶者の父母・兄弟からの推薦は受け付けできません。

③推薦者は日本人・外国人を問いませんが、日本語以外での記載の場合は翻訳(本人翻訳可)を必ず添付してください。

5. 在学証明書について

①給付期間中の在学予定学校と現在の在学学校が同一の場合、「在学証明書」を提出してください。(異なる場合は不要)

※入学予定の場合でも申請を受け付けますが、奨学金の給付にあたっては入学が確定していることが必要です。従って採択された場合には、給付開始月までに「入学許可書／在学証明書」を提出していただきます。

※学校が正式に発行している公的な在学証明書をご提出ください。指導教員の自筆文書などは認められません。

②日本語以外での記載の場合は翻訳(本人翻訳可)を添付してください。

6. 音源データ、映像データ、楽譜について

専攻分野に応じて以下のいずれかを提出してください。

収録の状態が著しく悪い、音が聞こえない、映像が見られないなどの不備があると、申請を受け付けられない場合があります。

また、不鮮明な映像(画質が粗く、顔が判別できない映像など)、ルールを守っていない映像を提出されますと、申請を受け付けられない場合があります。

●鍵盤楽器、弦楽器、管打楽器、声楽

必ずご自身のソロの演奏映像データ(全体で15分以内、曲数・曲目自由)を曲毎にアップロードした上で全てのURLを入力してください。

撮影、提出の際は以下の事項を厳守してください。

a)2024年1月以降に収録したデータであること。また映像と音声は同時に収録していること。

(演奏中の手の動きと音が一致していない映像は不可とする)

b)撮影の際は、カメラアングルを固定し、以下に留意すること。なお**マスクなど顔を覆うものを着用しての撮影は認めない。**

・鍵盤楽器:演奏者(申請者本人)の顔と手元が常に明確に映る角度で、楽器の右側(難しい場合は左側)から撮影したものであること。

・弦楽器 :演奏者(申請者本人)の顔と手元、弓を含む楽器全体が常に明確に映る角度で撮影したものであること。

・管打楽器:演奏者(申請者本人)の顔と手元、楽器全体が常に明確に映る角度で撮影したものであること。

・声楽 :演奏者(申請者本人)の顔と上半身が常に明確に映る角度で撮影したものであること。

c)撮影するデバイスに音声ボリュームを自動調整する機能が付いている場合は、使用しないこと。

d)著作権上の処理が必要な場合は、ご自身で手続等を行ってください。

e)曲中の編集、加工は一切行わないこと。

f)15分以上の動画の一部を審査映像とすることは認めません。審査映像のみをアップロードし、そのURLをご提出ください。

g)アップロードする動画タイトルは「氏名__専攻__作曲者名・演奏曲名」とすること。

(例:ローム花子__ピアノ__R.シューマン・子供の情景Op.15)

●作曲

ご自身の作曲した曲の演奏音源データ(15分以内)とその録音の楽譜データを提出してください。

(楽譜データが多量の場合は冒頭から十数ページのみ提出)

過去に申請し不採択となった方は、その際の曲および演奏音源の再提出は受け付けられません。

●指揮

ご自身の指揮映像データ(全体で15分以内、曲数・曲目自由)を曲毎にアップロードした上で全てのURLを入力して下さい。

※コンサート、リハーサル、ピアノでの練習風景などの映像をアップロードしてください。

撮影、提出の際は以下の事項を厳守してください。

- a) **2023年9月以降**に収録したデータであること。また映像と音声は同時に収録していること。
- b) 指揮者(申請者本人)の顔と全身が10分以上、明確に映っていること。
- c) 撮影するデバイスに音声ボリュームを自動調整する機能が付いている場合は、使用しないこと。
- d) 著作権上の処理が必要な場合は、ご自身で手続等を行ってください。
- e) 曲中の編集、加工は一切行わないこと。
- f) 15分以上の動画の一部を審査映像とすることは認めません。審査映像のみをアップロードし、そのURLをご提出ください。
- g) アップロードする動画タイトルは「氏名_専攻_作曲者名・演奏曲名」とすること。
(例:ローム花子_指揮_.ブラームス・交響曲第2番第1楽章)

●コレペティートア

ご自身のソロの演奏映像データ、ご自身の指導する映像データの2種類(全体で15分以内・曲数曲目自由)を曲毎にアップロードしてください。

撮影、提出の際は以下の事項を厳守してください。

- a) **2024年1月以降**に収録したデータであること。また映像と音声は同時に収録していること。
(ご自身の単独演奏については、演奏中の手の動きと音が一致していない映像は不可とします)
- b) ご自身のソロ演奏映像が5分以上、ご自身の指導する映像が5分以上であること。
- c) 撮影の際は、カメラアングルを固定し、以下に留意すること。
 - ・ソロの演奏映像 : 演奏者(申請者本人)の顔と上半身が明確に映る角度であること。
 - ・ご自身の指導する映像: 申請者本人の顔と上半身、指導されている方の顔と上半身が明確に映る角度であること。
- d) 撮影するデバイスに音声ボリュームを自動調整する機能が付いている場合は、使用しないこと。
- e) 著作権上の処理が必要な場合は、ご自身で手続等を行ってください。
- f) 曲中の編集、加工は一切行わないこと。
- g) 長時間の動画の一部を審査映像とすることは認めません。審査映像のみをアップロードし、そのURLをご提出ください。
- h) アップロードする動画タイトルは「氏名_専攻_作曲者名・演奏曲名」とすること。
(例:ローム花子_コレペティートア_R.シューマン・子供の情景Op.15)

7. 「音源・映像資料内容一覧」について (対象:6. 音源データ・映像データを提出する方)

上記6. で音源データ、映像データを提出する方のみ「音源・映像資料内容一覧」を提出してください。

8. 「研究の概要」について (対象:音楽学を専攻の方)

ご自身の研究の概要について、お書きください。

9. その他(選考審査上参考になるとと思われる資料)について (必須ではありません)

- ① 出演コンサートチラシや現在までの専攻分野における成果物等があれば添付することができます。
- ② 資料は最大3点まで。A4サイズで揃えて提出してください。
- ③ 音源・映像は受け付けられません。(上記6. で提出するものを除く)
- ④ 上記4. で提出いただく以外で推薦状は受け付けられません。
- ⑤ 資料1点における枚数制限は以下の通りです。制限を超えた提出は受け付けられません。
 - 音楽学専攻 : 20ページ以内
 - 音楽学専攻以外 : 5ページ以内
- ⑥ 資料データ1点につき5M以内でお願いいたします。制限を超えた提出は受け付けられません。

<個人情報の取り扱いについて>

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションに提出された貴殿の個人情報につきましては、選考審査および音楽活動への助成と奨学援助の実施に必要な範囲に限り使用させていただくとともに、法令の定めるところに従い適切な取り扱いを行います。